

昨年 8 月以降、国は原発政策を大転換させようとしています。これは、東日本大震災による東京電力福島第 1 原子力発電所爆発事故の教訓を蔑ろにするものです。

片岡輝美さんは原発爆発事故後から今日に至るまでの 12 年間、今なお放射能に苦しんでいる人びとのいのちと人権、生活が脅かされている事態に抗して声をあげ行動しておられます。福音に生かされ日々の活動をされている片岡さんから福島の実況を伺い、キリスト信仰者としての私たちの有り様を共に考えたいと思います。

# 東日本大震災 12 周年 記念の祈りと講演会

## 2023 年 3 月 11 日 (土)

14:15 ~ 15:00  
記念の祈り

同じ時 想いを一つに 皆で祈りを  
— 東北教区内諸教会 —



オンライン礼拝の参加  
講演の視聴はこちら  
(東北教区 YouTube チャンネル)



礼拝式文の  
ダウンロードはこちら  
(東北教区ホームページ)

※主教座聖堂 仙台基督教会における礼拝と講演会は、東北教区 YouTube チャンネルより生配信いたします。ライブ配信終了後もアーカイブ視聴が可能です。

※当日の信施は片岡輝美さんがメンバーの「これ以上海を汚すな！市民会議」のため、支援されている「民の声新聞」鈴木博喜記者のために献げます。3 月末までに東北教区事務所宛送金してください。

15:10 ~ 16:40  
講演会

主に喜ばれる生き方を吟味する  
～ 福島からのメッセージ～

講師 片岡輝美さん

1961 年福島県生まれ、会津若松市在住。日本基督教団若松栄町教会員。2005 年九条の会・西栄町学習会を結成。約 10 年間「自分のことばで平和を語る」をモットーに月例学習会やピースウォークや講演会などを企画。2011 年 3 月 15 日から 2 週間、被ばくを避けるために末息子、妹親子と三重県へ避難。帰還後、同年 7 月会津放射能情報センターを設立し代表となる。2014 年 8 月より子ども脱被ばく裁判の会共同代表。これ以上海を汚すな！市民会議メンバー。宗教者が核燃料サイクル事業廃止を求める裁判原告。著書に『今、いのちを守る』（日本キリスト教団出版局）など。

